あなたは、どのような未来を望むのか？

SFと科学技術倫理から考える、テクノロジー時代のソーシャルデザイン

12.21（月）
16:00-17:30（受付15:30）
SHIBUYA QWS
渋谷キューズ
渋谷スクランブルスクエア 15階
東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号

人工知能やゲノム編集などの技術が急速に進展し、これまでSFとして描かれてきた未来が現実になりつつあります。
一方で、「何ができるか」だけでなく、「何を実現したいのか」「どのような社会をつくりたいのか」を考えることも重要になっています。
本イベントでは、SFを活用した未来構想を研究・実践する宮本氏と、生命倫理や科学技術社会論を専門とする粥川准教授が対話します。
SF、倫理、社会学など異なる視点を掛け合わせながら、テクノロジー時代における未来の選び方について参加者の皆様とともに考えます。

宮本 道人氏



SF思考フューチャリスト
事業構想大学院大学 准教授

フィクション×科学技術でイノベーションを生む手法を研究。様々な企業・官公庁の未来共創を監修し、小説を執筆。著書・編著に『古びた未来をどう壊す?』『ディープリスク・ダイビング』『SF思考』『SFプロトタイピング』など。
1989年生、博士（理学：東京大学）。

粥川 準二



叡啓大学 准教授

科学社会学・医療社会学を専門とする社会学者。
サイエンスライター、科学ジャーナリストを経て、2021年より現職。
著書に『バイオ化する社会』『ゲノム編集と細胞の誕生』、共著に『Health Professionals and Patient and Public Involvement in Healthcare』、共訳に『逆襲するテクノロジー』など。
1969年生、博士（社会学）。

対象となる方

●企業の経営企画、新規事業、研究開発、人材育成等に関わるビジネスパーソン
●スタートアップ、クリエイター、起業家　●行政、教育・研究機関等の関係者
●大学生、高校生　●未来社会や科学技術、社会変革に関心を持つ方　●SHIBUYA QWS会員

プログラム

16:00-16:05 OPENING
イベント趣旨・登壇者紹介

16:05-16:20 KEYNOTE TALK 1 宮本 道人氏
まだない未来を、どう考えるか
SF思考とは何かを学び、未来を予測することと構想することの違いを考えるとともに、SFやフィクションを事業や社会の構想にどのように生かせるのかを探ります。

16:20-16:35 KEYNOTE TALK 2 粥川 準二准教授
「できること」と「してよいこと」の間で
科学技術と社会の関係を考え、生命科学などをめぐる倫理的・社会的課題を踏まえながら、新しい技術を社会に取り入れる際に、どのような視点や判断が求められるのかを探ります。

16:35-17:15 CROSS TALK 宮本 道人氏×粥川 準二准教授
あなたは、どのような未来を望むのか？
技術的に可能なことはすべて実現すべきなのか、便利な未来と望ましい未来は同じなのかを問いかけながら、新しい技術や事業を通じてどのような未来を目指すべきかを考えます。また、企業や研究者が未来の社会に対して負う責任や、SF・倫理・社会学などの視点が社会やビジネスに果たす役割について議論し、それぞれが考える「実現してほしい未来」と「実現してほしくない未来」を探ります。

17:15-17:25 Q&A
参加者との対話
会場からの質問を受けながら、登壇者と参加者で議論を深めます。

17:25-17:30 CLOSING

お申し込みはこちら

事前申込制
定員50名
※定員に達した場合は、申込受付を終了することがあります。

申込締切：12月21日（月）12:00

広島県公立大学法人 叡啓大学 EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA

お問い合わせ
広島県公立大学法人 叡啓大学 価値創造ブランド推進課ブランド推進係
〒730-0016 広島市中区幟町1-5
Tel 082-225-6312
E-Mail publicrelations@eikei.ac.jp